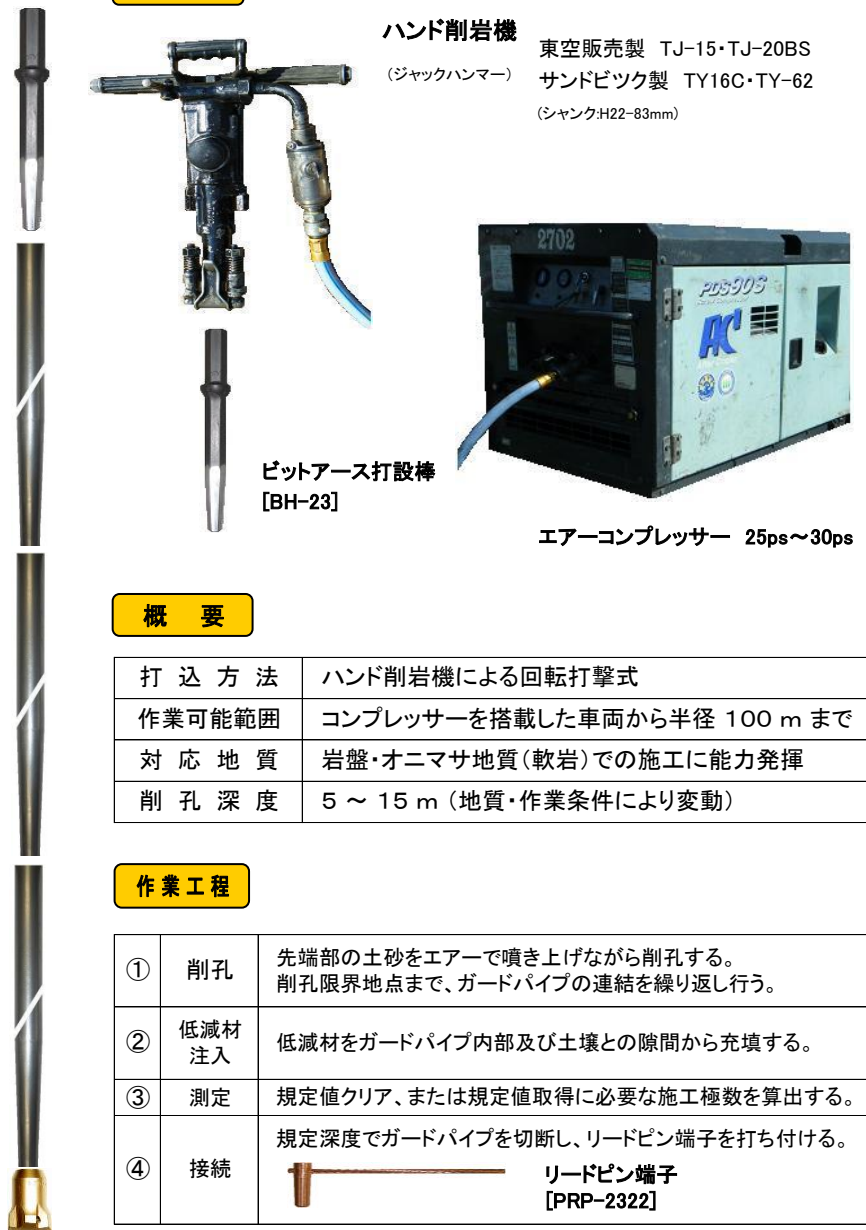


- ビットアース工法は、**岩盤・オニマサ等の硬地質で打込みが困難な場合**に使用できます。
- ビットアース工法は、ハンド削岩機で回転打撃しながら削孔し、先端のビット(トップビット)と連結させたロッド(ガードパイプ接地棒CZ)を、**引き抜かずそのまま接地極として埋設**します。
- ビットアース工法は、作業する工具が軽量コンパクトなので**重機の搬入が困難な場所でも施工が可能**です。
- 岩盤地区等で行われるボーリング接地工法は、「大型重機の設置」「掘削後のロッド引き抜き」「接地極挿入」「低減剤注入」と、大幅な費用と労務費が掛かりますが、ビットアース工法は**簡易的で大幅なコストの削減が可能**となります。

## 施工状況



## 使用機材



### ハンド削岩機

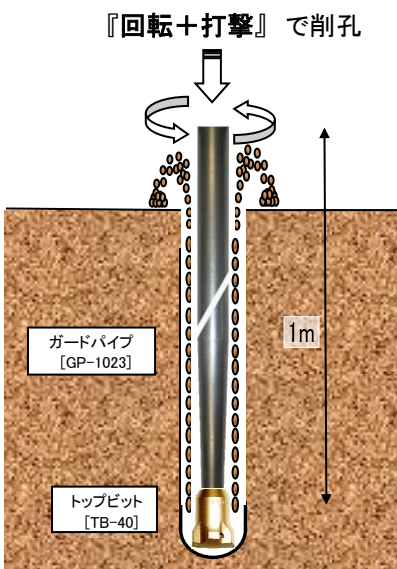
(ジャックハンマー)

東空販売製 TJ-15・TJ-20BS  
 サンドビック製 TY16C・TY-62  
 (シャンクH22-83mm)

### ビットアース打設棒 [BH-23]

エアークンプレッサー 25ps～30ps


## 略図



## 概要

打込方法	ハンド削岩機による回転打撃式
作業可能範囲	コンプレッサーを搭載した車両から半径 100 m まで
対応地質	岩盤・オニマサ地質(軟岩)での施工に能力発揮
削孔深度	5 ~ 15 m (地質・作業条件により変動)

## 作業工程

①	削孔	先端部の土砂をエアで噴き上げながら削孔する。削孔限界地点まで、ガードパイプの連結を繰り返して行う。
②	低減材注入	低減材をガードパイプ内部及び土壌との隙間から充填する。
③	測定	規定値クリア、または規定値取得に必要な施工極数を算出する。
④	接続	規定深度でガードパイプを切断し、リードピン端子を打ち付ける。  リードピン端子 [PRP-2322]

(注意事項) 作業には必ず防塵マスク、防塵メガネの着用をお願いします。